

日 時	9 月 3 日（日）13 時	担当部署・年次	
参加生徒	3 年次 前生徒会長 藤原 咲良	開催場所	神戸松蔭女子学院大学
概要・内容	日本特別活動学会（第 32 回）が開催されました。学校教育における特別活動とは、学校行事・生徒会活動・ホームルーム活動の 3 つの総称です。学会ですので、学識研究者や大学の教授、そして幼小中高の先生方が集います。 スライド 70 枚の内容で、2 枚を抜粋します。 内容 1 はじめに 2 学校説明 3 令和4・5年度の主たる特別活動 4 学校文化を創造する特別活動 5 生徒の意識(アンケート) 6 生徒の振り返り(前生徒会長) 7 まとめ 内容の 5 の生徒の意識（アンケート）の結果を踏まえ、令和 4 年度創立 40 周年記念事業の展開において、活躍した前生徒会長の藤原さんが①文化祭とは ②修学旅行 ③生徒会活動で学んだ事の 3 つを、約 7 分間、あらかじめ作成していた原稿を一切見ずに、自分の言葉で堂々と聴衆の顔を笑顔で見つめながら語ってくれました。さらに発表後の質疑応答の 2 人の大学教授から 2 つの質問があり、見事対応力にすぐれ明瞭に端的に答えてくれました。その答えた内容は ①加古南には、生徒の活躍出来る場や、挑戦して頑張れるチャンスが多くある。 ②それを先生方がサポートしてくれる。 ③先生方の日頃言うことと行動がブレないから、生徒は先生方を信頼している。 と答えてくれました。そしてその発言が、閉会式において、発表した分科会の報告として取り上げられ、学会に高校生から本音の意見がだされ、一生ものの人間力が育っていることが立証されたと絶大なる拍手と賞賛の声がありました。		
担当者感想	「学会で発表ができて、貴重でとてもいい経験ができました。校長先生と一緒に発表できて、とてもいい思い出になります。ありがとうございました。」のコメント		



